

抜粋:

アンドレア. パス

ウォルドーフ高校の

メインレッスン教育学をユーリト

ミーで強化

この画期的で美しい研究は、アンドレア. パスが発生学と天文学に関する高校のメインレッスンブロックに教育的なユーリトミーをうまく統合した2つの実験を説明しています。ルドルフシュタイナーのユーリトミーとウォルドーフの高校教師の実践者にとって特に興味深いものになるでしょうが、それ以上に、学際的な研究と教育全般の輝かしいモデルとして掲げられる価値があります。

フルバージョンはAmazonで英語で入手できます。

はじめに

この研究は、ウォルドーフ高校メインレッスン (ML) ブロックの統合教育的モデルリティとしてユーリトミーを使用した実験に関するものです。私は、ユーリトミーを取り入れることで、特に主題についてのダイナミックで生きた思考の発達、グループとしての創造的で有意義な仕事による社会的意識の向上、そして行動における彼らの意志の直接的な関与を通して、主要なレッスン内容の学生の経験を豊かにすると予測しました。この研究は、2学年にわたって様々な高校のメインレッスンブロックでそのようなユーリトミーコラボレーションを作成し、実行した私のオリジナルの研究を説明しています。

ウォルドーフの教えと同様に、伝統的なユーリトミーレッスンをメインレッスンに拡張することは、各生徒が自分の思考、感情、意欲を同時に、そしてメインレッスンの内容に直接関与させることを伴います。したがって、各生徒は全体として活性化され、その教材の全体的な探求を通してレッスン教材の一部になる（したがって、その教材との生きた関係を作り出す）ことによって学ぶことができる3倍の人間です。非常に多くの場合、これは、個人としての仲間のクラスメートのために、そしてブロックの主題の“全体像”の側面を反映する、クラス全体を構成するグループ意識の同時育成によって可能および/または強化されます。

私は、生徒が直立した自由な個人として成長し、思考を生き、地域社会の他の人を思いやりのある意識を持ち、周囲の世界に純粹に興味を持つのを助けることによって、高校のメインレッスンブロックを強化することを目的として、私のプロジェクトを構築し、実行しました。私は、主要なレッスンブロックとのユーリトミーのコラボレーションが、存在のすべてに浸透している自分自身よりもはるかに大きな何か、つまり私たちの周りと内部に織り成す人生の原型的な合法性についての学生の発見を鼓舞する強力な可能性を秘めていることを期待していました

。彼らの主なレッスンの主題をユーリトミックに探求する活動は、それらの科目内の原型的な現実を知覚し認識する機会を学生に提供するように設計されています。生徒が主なレッスン科目の根底にある普遍的なアーキタイプについて制定し、経験し、批判的に考えるのを助けることによって、私は彼らが世界の不可欠な部分として自分自身を経験し、世界に対する人間の責任感を深めながら、主題のより豊かな理解を達成すると予測しました。

....

テーマ 2: 3-折りたたみ自然: 3-内胚葉、中胚葉、および外胚葉に関連してリズムカルな歩行運動を折り畳む。

内胚葉、中胚葉、外胚葉と呼ばれる生殖細胞の一次層の形成と機能に表れているように、すべての人間の中の3倍の性質の定性的およびユーロリトミカルな経験を学生にもたらしするために、私は次の演習をもたらしことにしました。

ステップ1: 生徒全員と一緒に輪になって立って、円の中心に向かって4歩、均等に間隔を空けて4歩進んで、わたしの真似をするように言います。私は彼らに、各ステップを私のステップと同期させ、私が“1、2、3、4”を数えながら私の声で話しているビートに置くように頼みます。(図 3.18 を参照)



図 3.18

ステップ2:次に、彼らが始めた場所(彼らが今立っている場所の4歩後ろ)を想像し、元の出発点からまっすぐ後ろに4歩の同じ長さを行くと、彼らが到達する場所を想像してもらいます。私は彼らに彼らの肩越しに見て、彼らが到着すると彼らが推定する場所、彼らの8歩後ろをまっすぐに指さすように頼みます。私は彼らに、私たちは次にその点に移動するが、直線ではないと想像するように言います。2本の曲線を後ろに移動して(円の中心に連続して向いたまま)そこに着きます: 1つ目は、円の半分を形成する曲線で、右と後ろに始まります(出発点に私たちを連れて行きます)。2番目の線も半円の線で、元の開始位置から左と後ろに進み、先ほど指し示した場所で終わります。最初の曲線を完了するために4つのステップを踏み、2番目の曲線を完了するためにさらに4つのステップを踏みます。私は彼らに、私が歩きながらもう一度私の真似をするように頼み、各ステップのビートに大声で数えます。8歩後、到着しました。私たちが今歩いた道が、8の字の半分の形に見えるかどうか、彼らに尋ねます(図3.19)。



図 3.19

ステップ3:次に、私たちが今立っている場所から前方と右側から始まり、左にカーブし（二重湾曲したパスを始めたポイントを通過するため）、後ろに曲がって再び右にカーブして元の出発点に到達するスパイラルパスを想像してもらいます。私は彼らに、私が親指だけで立っていると説明した方法を私に見せてほしいと頼みます。指が正しい方向に動き、正しい場所で終わる螺旋状になったのがわかったら、その道を16の等間隔のステップで歩くことを想像してもらいます。その後、最初の道が始まった場所に到着するまで、各ステップで1から16まで数えながら、スパイラルパスを一緒に歩きます（図3.20）。

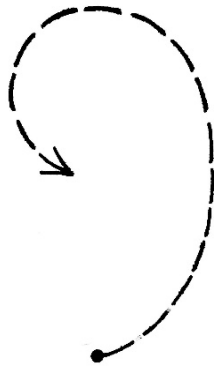


図 3.20

ステップ4: 私たちが今歩いた3つの道を注意深く正確にホワイトボードに描いて、クラスメートが最初の試みに対して行う必要のある訂正や調整を丁寧に申し出ることができる生徒がいるかどうか尋ねます(図3.21)。

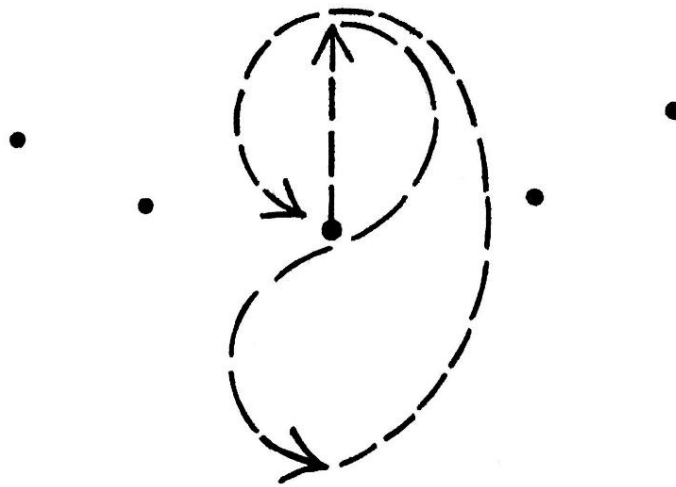


図 3.21

ステップ5: 手順 1 ~3 を繰り返して、手順のペーシングに 1 つのバリエーションを追加します。私はすべての生徒が楽器を演奏したり、学校の合唱団で歌ったりすることを知っているので、私は彼らが練習問題に追加された次の部分に関連するように音楽的な要素を持ってきます:

- 最初の道の4つのステップを、4/4拍子の音楽的な小節の四分音符のように考えてほしい。彼らを最初の道に直接導きながら、私は一緒に道を歩くときに私たちの歩みの遅いペース(四分音符)を大声で数えます:“1つ、2つ、3つ、4つ”。
- それから、私たちが到着した場所に立って、誰かが次の道の8つのステップのビートをあたかも8番目の音符であるかのように数えることができるかどうか尋ねます。熱心な生徒がすぐに正しいペースで8分音符のビートを話すことができたなら(私が設定した4分音符のペースの2倍の速さ)、私は学生に8ステップのダブルカーブのパスを8分音符のビートに戻すように頼みます。
- 次に、次の道の16段の鼓動を16分音符のように数えることができるかと尋ねます。もう一度、生徒は正しいペースで16番目の音符を素早く簡単に数え、私は16番目の音符のビートペースで生徒と一緒に16ステップのスパイラルパスを動かすことにすぐに飛び込みます。
- 最後に、各パスは1つの小節の間に行われていると考えることができ、各学生がこの概念を理解していることを確認することを指摘します。

このテンポの要素を加えた3つのパスを動かすことは、クラスが3つの部分からなるフォーム全体をスムーズかつ調和して流れるようになるまで、中断することなく数回繰り返されます。

ステップ6:次に、ホワイトボード上にある3つの経路(直線, 二重曲線, らせん)の絵を一緒に見てもらい(あるいは, それが消去されたらすぐにもう一度描いてください), 3つの異なる経路を, 学んだ生殖細胞組織の3つの異なる層に関連付けることができるかどうか尋ねます。どの経路が内胚葉(後に肝臓、膵臓、肺、甲状腺などの主要な器官を作り出す内層)に何らかの形で対応できるのか、そしてその理由は?どの経路が中胚葉(骨格筋、骨、結合組織、心臓を形成する中間層)に対応する可能性があり、その理由は何ですか?どの経路が外胚葉(皮膚、髪、目、乳腺、脊髄などの体のすべての外側部分が形成される外層)に対応することができ、なぜですか?

生徒たちは、最初の経路(図3. 18)が内胚葉層に関連している可能性があることを発見するでしょう。第2の経路(図3. 19)は、中胚葉が最内経路と最外経路の間を媒介する性質を有するため、中胚葉に関連している可能性がある。3番目のパス(図3. 20)は、フォーム全体の最も外側の部分であり、フォームの他の部分をそれ自体で包み込むため、外胚葉に関連している可能性があります。

私は彼らに、この三重の形をした形で、若い人間の胚/胎児の形に少しでも似ているかどうか尋ねます。少しの指導で、生徒たちは似ていることに気づくでしょう。

ステップ7:私は1人の生徒を任命し、サークル内のすべての生徒を1人ずつ、3人のグループに分けて数え続けます。“一”と話したすべての学生に、私は彼らがすでにいた場所のサークルラインにとどまるように頼みました。“二”を話したすべての生徒のために、“ナンバーワンの学生”の4つのステップの前のポイント（ダブルカーブパスの出発点）に移動するように頼みました。“三”と話した生徒全員に、“ナンバーワンの学生”（スパイラルパスの出発点）の4ステップ後ろのポイントに移動するように頼みました。次に、“ナンバーワングループ”に、直線パスの4つの四分音符ステップを完全に前方に移動するように依頼します(図 3.22)。

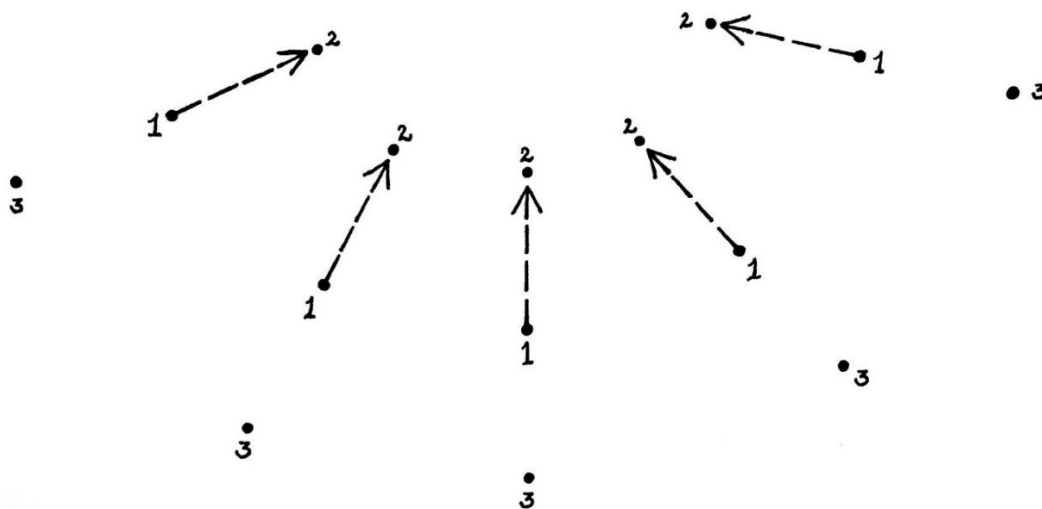


図 3.22

これに続いて、“番号2グループ”がダブルカーブパスを8番目の音符ビートまで後方に移動させます(図3.23)。

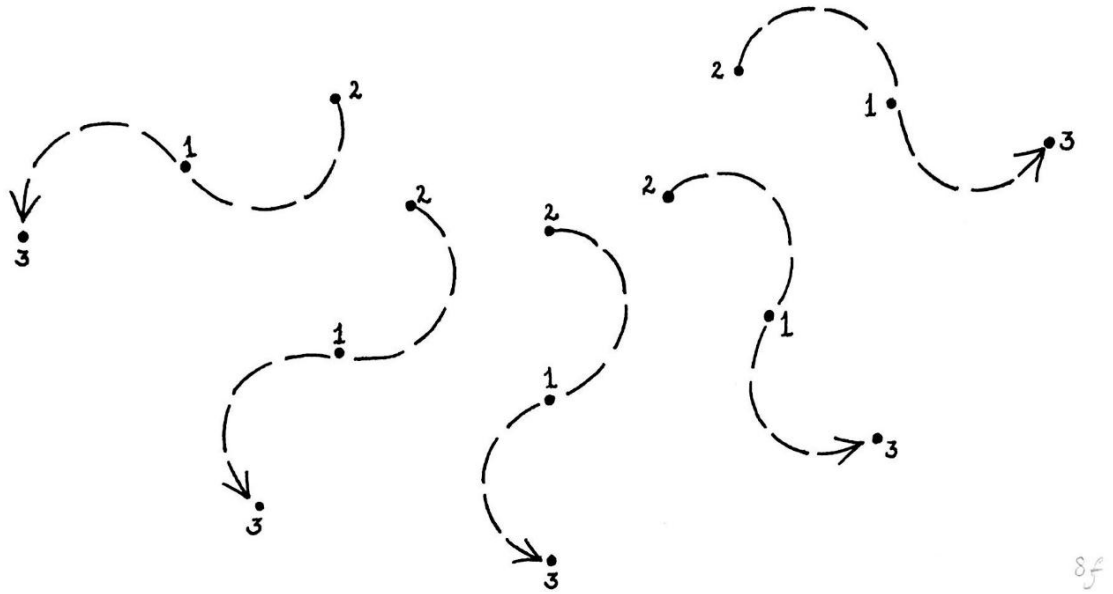


図 3.23

フォーム全体を完成させるために、“ナンバー3グループ”にスパイラルパスを16分音符ビートに移動するように依頼します(図3.24)。

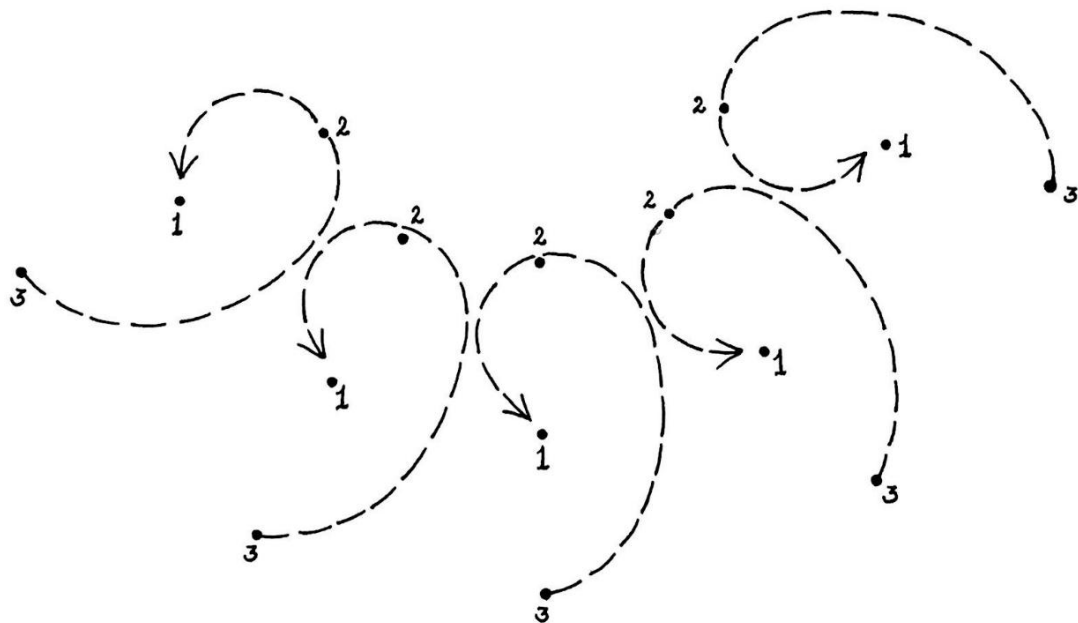


図 3.24

ステップ8: 私は3つのグループすべての学生に、新しい出発点として持っているどの時点からでも、3つの道すべてを同時に進むように頼みます（これは“2番”と“3番”にとってのみ新しいものです）。あたかも彼らが“正典として全体の形を歌っている”かのように（図3.25）。

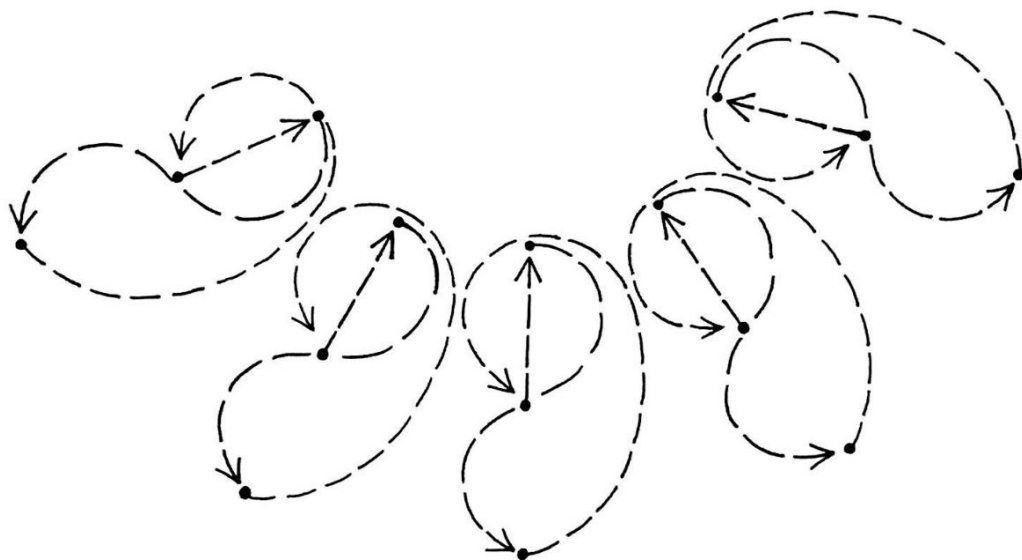


図 3.25

三つの道全てを優雅に一旦無理やり通り抜けた後、私は彼らに、中断することなく、すべての道を2回連続して流れるように頼みます。

ステップ9: この演習の最後のステップとして、生徒たちにステップ8を繰り返してもらいながら、最後のニュアンスを付け加えます：彼らは内胚葉（内部組織層であること）の性質を考えながら四分音符をまっすぐな道を動かすことができますか？ 彼らは中胚葉の性質（仲介組織層であり、その一部が心臓になる）を考えながら、8分音符の二重曲線経路を動かすことができますか？ 外胚葉（胚組織の外層であること）の性質を考えながら、16分音符の螺旋状の経路を動かすことはできますか？ 最後に、三重の形が一つ一つの実体として、織り合わされ、呼吸し、脈打って、循環する生命に満ち溢れ、それぞれの部分を通して動いているように、彼らに見てもらいたいです。